

# ICT機器 (iPad, BIG PAD) を活用した学修支援

徳島大学附属図書館蔵本分館では、2012年度のリニューアルオープンの際に、iPadや大型タッチパネルディスプレイ装置(BIG PAD)等の各種ICT機器や充実した無線LAN環境を整備することができました。

そこで、これらを活用し、新しい形の学修支援に取り組んでいます。

## 1. 図書とiPadアプリとを融合させたテーマ展示

2012年11月より、3週間ごとに旬のテーマや1つの分野に収まらない学際的なテーマを取り上げ、関連する図書とiPadアプリを展示しております。

3Dで拡大や回転が自由に行けるといった、タブレット端末ならではの利点を生かしたアプリが医療系では数多く出ております。この展示ではiPadに触れて、利用者が自由にアプリを体験することができます。

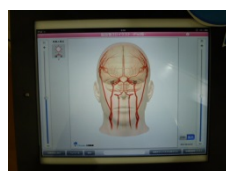
実際に体験してみることで、「使ってみよう」という意欲が湧き、利用者自身が所有するタブレット端末を用いた「医療系アプリによる学習」を、新しい学習手段として取り入れてもらうことを狙っています。

(2013年9月に行った利用者アンケートでは、タブレット端末・スマートフォンの所有者が80%近くに上がることが明らかになっております)

また、AirPlay ミラーリングという無線LANシステムを用い、iPad の画面をApple TV経由でBIG PADと連携させ、表示画面を連動させるシステムを利用しております。

これにより大画面でiPadの画面を見ることが出来るため、利用者をテーマ展示へと誘導する役割を果たしています。また、アプリの動きがより分かりやすいという利点も兼ね備えています。

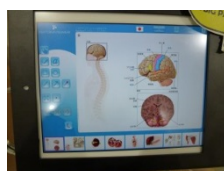
### これまでに紹介したアプリ(一例)



医療系

無料

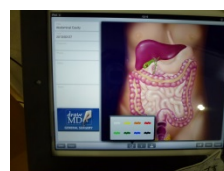
脳血管3Dイラスト  
(提供元: 大塚製薬株.)



医療系

無料

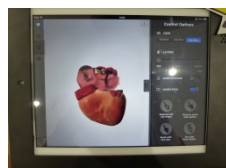
NATOM VIEWER  
(提供元: Callimedia.)



医療系

無料

drawMD General Surgery  
(提供元: UrologyMatch, LLC)



医療系

無料

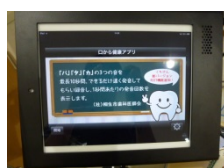
HeartDecide  
(提供元: ORCA MD)



生物系

無料

Molecules  
(提供元: Sunset Lake Software.)



歯学系

無料

くちけん  
(提供元: (社)桐生市歯科医師会.)



栄養系

無料

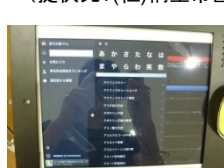
e食材辞典  
(提供元: 第一三共株)



栄養系

無料

がん治療と食事 for iPad  
(提供元: 大鵬薬品工業株)

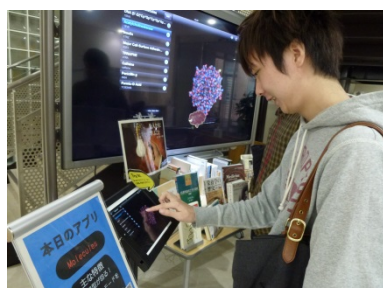


薬学系

無料

添付文書Pro  
(提供元: QLIFE, Inc.)

### 利用の様子



## 2. グループ学習におけるICT機器の活用

2012年5月のリニューアルオープン時より、6室あるグループ学習用の個室の一部にBIG PADを備え付け、利用に供しています。BIG PADは一台でパソコン機能とホワイトボード機能を併せ持っています。

パソコン機能を用いた利用では、自宅や図書館のパソコンで作成した資料をBIG PADに表示させ、プレゼンや勉強会に使用している姿が多く見られます。組織図やCTの画像を表示させ、グループで部位名を学習していた学生は、大きい画面に表示されるので分かりやすいし、グループで勉強できて非常に便利であるとのことでした。

表示させた資料に書き込みし、保存もできますので、ディスカッションの場で非常に有効です。無線LANにも接続していますので、文献データベースの検索など、web上での情報収集もその場で行うことができます。

ホワイトボード機能を用いた利用では、ブレインストーミングに使ったり、自分で解剖図を書きながら学習したりする姿をよく見かけます。

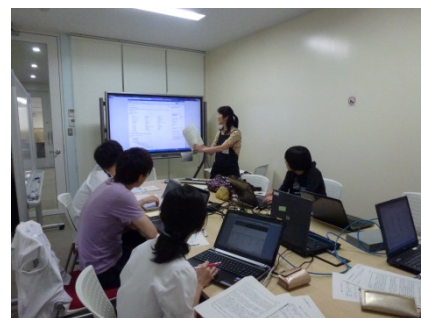
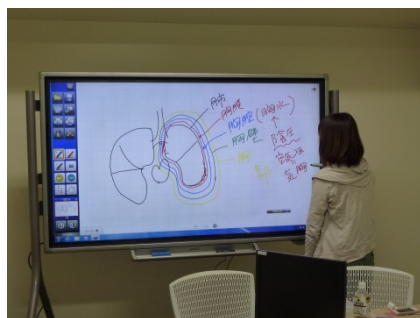
画像の取り込みや図形の描写も簡単に行えること、1台でシートを複数作成することが出来るため議論や学習を途切れさせないこと、書いたものを保存できることが、通常ホワイトボードとは異なる大きな利点です。

また、図書館職員による講習会でも活用しています。文献検索講習会ではBIG PADで講師が説明しながら検索画面を表示させ、参加者はそれを見ながら手元のパソコンで実習を行っています。

多い月には、グループ学習室は約570件、BIG PADは設置している3室で月に約60件の利用があり、希望が重なることも多々見られます。

また、1室では「1. 図書とiPadアプリとを融合させたテーマ展示」でも紹介したAirPlay ミラーリングを用いて、利用者持ち込みのiPadやiPhoneの画面とBIG PADの画面を連携・連動させることができるよう設定しております。

### 利用の様子



## 3. 取り組みの経緯と今後の展開

ICT機器の有効利用ということで始まったアプリ紹介ですが、当初は利用者の反応がつかみきれず、本当に役に立つのだろうかと悩む日々でした。

ある時、何人かの学生がiPadを操作しながら賑やかに話している光景に出会いました。彼らはよく図書館を利用しており、グループ学習室も積極的に活用している学生グループでした。

話を聞いてみると、iPadを買ったばかりでアプリに興味湧いてきたということ、展示しているアプリがちょうど勉強会で使える内容であること、そのアプリのどこが自分達の勉強会に使えるのかということ、具体的に生き活きと話してくれました。「楽しみにしています」という投書も入るようになり、現在まで後押ししてくれる力となっております。

グループ学習室での取り組みも、「グループ学習室でも展示と同じことができたらすごくいいですね」という利用者の声を反映したものとなっております。今後も、利用者の学習環境をよりよいものにできるよう、ICTのさらなる活用を目指してまいります。

また、ブログ「徳島大学附属図書館蔵本分館日誌」にて、紹介したアプリの使い方や、グループ学習室で実際にどのような形でBIG PADを活用しているかについての記事を掲載しており、アクセス数も開設当初の2倍以上となっております。

今後も医療系アプリや、ICT活用状況化における情報提供・共有を進め、学生の学習意欲を刺激していきたいと考えております。